

Oracle Linux FAQ

[概要](#)[製品価格](#)[補償](#)[互換性およびサード・パーティ・ソリューション詳細情報](#)[サポートの詳細](#)[トランジション](#)[追加情報](#)

概要

Oracle Linux とはどのようなものですか。

Oracle Linux は、GNU General Public License (GPL) や他のオープンソース・ライセンスの下で使用できるオープンソースのオペレーティング・システムです。Oracle Linux は、無償で[ダウンロード](#)できます。オラクルでは、24 時間 365 日、Oracle Linux 向けのグローバル・サポートを有償で提供しています。

Oracle Linux には、以下の 2 つのカーネルが含まれます。

- Unbreakable Enterprise Kernel は、メインラインの Linux カーネルを綿密に追跡し、最新の機能とテスト済みのパフォーマンスおよび安定性を提供します。
- Red Hat Compatible Kernel は、Red Hat Enterprise Linux ソースから直接コンパイルされています。

オラクルの Unbreakable Enterprise Kernel for Linux とはどのようなものですか。

Unbreakable Enterprise Kernel は、Oracle Linux のデフォルトのカーネルです。高速で信頼性の高い、最新の Linux カーネルであり、エンタープライズ・ソフトウェアおよびハードウェア向けに最適化されています。Oracle Linux をオラクルの新しい Unbreakable Enterprise Kernel と組み合わせることで、Linux の最新の改革を市場にもたらし、エンタープライズ・アプリケーションに対して優れたパフォーマンス、高度なスケーラビリティおよび信頼性を提供します。システム・ライブラリはすべて変更のないまま維持されるため、既存のアプリケーションは変更されずにそのまま稼働します。

Oracle Unbreakable Enterprise Kernel は、Oracle Linux 5.6 および Oracle Linux 6 以降、デフォルトのカーネルです。最新バージョンの Unbreakable Enterprise Kernel Release 2 は、メインラインの Linux kernel 3.0.16 に基づいており、エンタープライズ・ワークロードに関連する多様な新機能や改善を提供します。

Unbreakable Enterprise Kernel は、Oracle ソフトウェアのみならず、Linux 上で動作するあらゆるエンタープライズ・アプリケーションの使用にオラクルが推奨する唯一の Linux カーネルです。Unbreakable Enterprise Kernel は、x86 (32 ビット) および x86-64 (64 ビット) サーバーで使用できます。

オラクルは、Red Hat Enterprise Linux との互換性を引き続き提供しますか。

オラクルでは、引き続き Red Hat Enterprise Linux との互換性の提供に取り組んでいます。ユーザースペース・アプリケーションでは、Red Hat Enterprise Linux は、Unbreakable Enterprise Kernel を実行しているか Red Hat Compatible Kernel を実行しているかに関わらず、Oracle Linux と完全に互換性があります。オラクルでは、特定のハードウェアやドライバのサポートに必要とされる場合に、Red Hat Compatible Kernel のリリースおよびサポートを Oracle Linux の一部として継続していきます。

Ksplice ゼロ・ダウンタイム・アップデートとはどのようなものですか。

Ksplice ゼロ・ダウンタイム・アップデートは（Oracle Linux Premier Support のお客様がご利用可能で）、Linux オペレーティング・システム（OS）カーネルに、リブートや中断なく、実行中にパッチを適用します。この独自の機能により、メンテナンス・ウィンドウのスケジューリングの中断や、オペレーティング・システムのリブートなしに、運用コストをかけずに重要な Linux の更新に対応できます。Oracle Linux のリブートなしの更新は、Unbreakable Enterprise Kernel と Red Hat Compatible Kernel の両方で利用できます。このサービスは、Oracle Linux Premier Support のお客様には追加コストなしで提供されます。[開始方法については、詳細を参照ください。](#)

Oracle Linux サポートとはどのようなものですか。

[Oracle Linux](#) サポート・プログラムは、最高レベルのバックポート、包括的な管理、クラスタ・ソフトウェア、補償、テストなど、Linux 向けのエンタープライズ・クラスのサポートを大幅に少ないコストで提供します。

オラクルは、組織が Linux オペレーティング・システムを確実に活用できるようにするため、高品質で包括的な統合サポート・ソリューションの提供に取り組んでいます。テクニカル・サポートは、すべての Oracle 製品に使用される、十分に確立されたサポート・インフラストラクチャである My Oracle Support 経由で提供されます。

Oracle Linux サポート・プログラムでは、Unbreakable Enterprise Kernel または Red Hat Compatible Kernel を実行する Oracle Linux の完全なテクニカル・サポートを受けられます。

オラクルが提供する Linux サポートの内容は何ですか。

エンタープライズ顧客の要求に応じて、オラクルでは Linux サーバーの配置について以下を提供します。

- Oracle Linux の[無償でインストール可能なバイナリ](#)
- Linux サポートは、以下の 3 つのレベルから選択できます。
 - Network – ソフトウェア（更新を含む）、Linux サーバーのライフ・サイクル管理、クラスタ・ソフトウェア
 - Basic – 24 時間 365 日のグローバル・サポート、完全な Linux サーバー・ライフ・サイクル管理、クラスタ・ソフトウェア
 - Premier – 24 時間 365 日のグローバル・サポート、完全な Linux サーバー・ライフ・サイクル管理、クラスタ・ソフトウェア、最高レベルのバックポート、Ksplice ゼロ・ダウンタイム・アップデートおよび Oracle ライフタイム・サポート
- サブスクリバ・ネットワークの [Unbreakable Linux Network](#) (ULN) で提供されるパッチ、修正プログラム、および更新へのアクセス

2012 年 2 月に、オラクルは Oracle Linux のサポート・ライフ・サイクルを 8 年から 10 年に延長しました。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

誰が Oracle Linux サポート・プログラムを利用できるのですか。

Oracle 製品を使用しているかいないかに関わらず、誰でもオラクルから Linux のサポートを受けられます。オラクルでは、既存の Red Hat Enterprise Linux インストールと、新規または既存の Oracle Linux インストールの両方をサポートしています。

また、Oracle Sun x86 サーバーを Hardware Premier サポートと一緒に購入した場合は、Oracle Linux、Oracle VM およびクラスタのサポートが無料になります。

Oracleは、どのようにして Linux のエンタープライズ品質のサポートを低コストで提供できるのですか。

Oracleは、何十年にもわたり、世界でもっともミッション・クリティカルなデータセンター向けにエンタープライズ・クラスのソフトウェア配置をサポートしてきました。Oracleは、業界をリードするエンタープライズ・サポート・プロバイダとして以下を提供します。

- 何千ものサポート専門家による、145 か国 27 言語、24 時間 365 日のグローバル・サポート
- 専門の Linux エンジニアリング・チーム
- サード・パーティのハードウェア、ストレージ、ネットワーキング、ドライバによる Linux の包括的なテストおよび最適化
- エンタープライズ・アプリケーション、ミドルウェア、データベース、Linux、仮想化、サーバー、ストレージを含む完全なソフトウェア・スタック向けの完全なサポート
- インストール、構成、および完全な Linux スタック配置のためのサービスと専門知識

なぜOracleは Linux をサポートするのですか。

Oracleには、標準ベースのコンピューティングをサポートすることでお客様の IT インフラストラクチャのコストを削減してきた長い歴史があります。Linux は、Oracle ソフトウェアの配置にとって、もっとも速く成長したオペレーティング・システムの 1 つであり、そのため、Oracle のお客様にとって非常に重要です。顧客コミュニティは、Oracle および Linux を使用してデータセンター・ソリューションを配置する際に、エンタープライズ品質のオペレーティング・システムのサポートを求めています。Oracle は、高品質のエンタープライズ Linux サポートを提供し、Linux テクノロジーを進展させることによって、顧客へのサービスを向上させると同時に、データセンター・ソリューションとしての Linux オペレーティング・システムの発展を加速化することに全力を注ぎます。Oracle Unbreakable Linux プログラムなどのOracleによるLinuxの支援は、データセンターにおけるLinuxの成功にとって重要です。

Oracleはどのようにして Linux コミュニティと関わりますか。

Oracleは、Linux の開発、サポート、および普及促進に取り組んでいます。Oracleは、長年にわたって Linux コミュニティに重要な貢献をしてきました。これには、[Oracle Cluster File System](#) (バージョン 2.6.16 以降 Linux カーネルの一部) や [btrfs ファイル・システム](#) (バージョン 2.6.29 以降 Linux カーネルへ統合) などの主要なコードへの貢献が含まれます。Oracle の Linux エンジニアリング・チームは、Linux コミュニティの一部として信頼されており、Oracle の従業員の中には、Linux メインライン・カーネルのメンテナーがいます。Oracle は、Linux に関連した改革、変更、ドキュメント、修正を、引き続き Linux コミュニティに直接かつタイムリーに提供していきます。Oracle は、Linux コミュニティと協力するための基準を設けるよう努めます。

Oracleは、Linux がエンタープライズで適切に稼働するためのテストに膨大な労力を注いでいます。Oracle の Linux テスト・ラボでは、実際の顧客ワークロードに基づいた多数のテスト・キットを使用し、Linux に負荷をかけてパフォーマンス、信頼性、スケーラビリティ、および高可用性をテストしています。これらのテスト作業の結果によって、Linux カーネルのバグ修正や新しい拡張機能が可能になり、Oracle の顧客にとって Linux をより良いものにすることができ、Linux コミュニティおよび他のオープンソース・プロジェクトとのOracleの作業の詳細については[こちら](#)をご覧ください。

OracleはLinuxを使用して、どのようにビジネスおよび製品開発を進めるのですか。

Oracleは、Linuxをグリッド・コンピューティング・インフラストラクチャで使用するにより、ITコストの削減という利点を直接実現しました。Oracleのアウトソーシング・ビジネスである [Oracle On Demand](#) は、Linux上で実行されており、[Oracle University](#) も同様です。Oracleは、数百台のサーバーで構成されるアプリケーション・デモ・システムおよびテクノロジー・デモ・システムもLinux上で実行しています。これらのシステムは、Oracle製品のデモを顧客や見込み顧客に見せるために、世界各国のOracleの営業陣が利用しています。Oracle Global ITは、42,000台を超えるサーバーでOracle Linuxを実行し、400万を超える外部ユーザーおよび84,000の社内ユーザーをサポートしています。

20,000人を超えるOracleの開発者は、Oracle Database、Oracle Fusion Middleware、Oracle E-Business Suiteなどの主要なOracle製品をOracle Linuxを使用して開発しています。およそ40,000台のOracle Linuxシステムが、Oracleの製品開発ファームで1日あたり128,000計算時間のテストを実行しています。

OracleのLinuxにおけるリーダーシップおよびコミットメントについての詳細は[こちら](#)をご覧ください。

価格

OracleのLinuxサポートの価格を教えてください。

OracleによるLinuxサポートの価格設定はシンプルで、Unbreakable Enterprise Kernel または Red Hat Compatible Kernel、あるいは両方を使用するOracle Linuxのサポートに適用されます。サポート価格は、以下のようにシステムごとに計算されます。

ご参考：[日本国内価格表](#)

	最大2個の物理CPUを備えたシステムごとの年間費	無制限の物理CPUを備えたシステムごとの年間費	
インストール可能なバイナリおよびソース	無償	無償	無償でのインストールが可能なLinuxバイナリ、ソースは Oracle E-Delivery 経由で利用可能予定
Oracle Linux Network Support	\$119	\$119	ソフトウェアへアクセス、Unbreakable Linux Network 経由で更新
Oracle Linux Basic Support	\$499	\$1,199	ネットワーク・アクセス、24時間365日のグローバル・サポート、Linuxサーバーの完全なライフ・サイクル管理
Oracle Linux Premier Support	\$1,399	\$2,299	ネットワーク・アクセス、24時間365日のグローバル・サポート、Linuxサーバーの完全なライフ・サイクル管理、以前のリリースに対する修正のバックポートおよびOracle ライフタイム・サポート

Sun x86 の Premier Support for Systems および Premier Support for Operating Systems には、追加費用なしでOracle Linuxのサポートが含まれています。

複数のコアまたはハイパースレッディングを使用したモノリシック集積回路は、システムの物理CPUの総数を決定する際に、単一の物理CPUとしてカウントされます。詳細は、[価格設定ガイド](#)を参照してください。

補償

オラクルは知的財産権の侵害請求からユーザーを補償していますか。

はい。オラクルは、Linux オペレーティング・システムの成功に向けて取り組んでおり、顧客に対する知的財産権の請求を補償することで、サポートを支援していきます。この補償は、オラクルがサポートするすべての Linux ユーザーに提供され、Network、Basic、Premier の Linux サポートに含まれます。補償は、顧客がオラクルに支払った金額に制限されるものではありません。オラクルの補償は、以下のとおり、オラクルの Linux サポート契約の一部として提供されます。

"お客様が現在 Oracle Linux サポート・サービスに加入しており、オラクルが提供し、お客様がビジネス運用のために使用した、対象となる任意のプログラム（"マテリアル"）が知的財産権を侵害したと第三者によって請求された場合、お客様が以下に従う場合は、オラクルは、自身の経費および費用において、お客様をその請求から保護し、補償を請求している第三者に裁判所によって裁定された損害、法的責任、経費および費用、またはオラクルによる和解契約からお客様を補償します。

- 請求の通知を受領してから 30 日以内（または法律の定めによって必要とされる場合はそれ以前）に、オラクルにすみやかに書面で通知すること
- オラクルに、弁護および和解交渉を一任すること
- オラクルに、防衛および請求の和解に必要な情報、権限、および支援を提供すること

侵害に対する包括的なオラクルの補償によって、ユーザーは、躊躇なく Linux を配置できます。オラクルが補償を提供することにより、Linux はエンタープライズ配置にとってさらに魅力的な選択肢となっています。詳細は、[Top Five Facts About Oracle's Indemnification for Linux](#) を参照してください。

互換性およびサード・パーティ・ソリューション

オラクルは Red Hat のソース・コードを取得していますか。

Linux は、ソース・コードの無償配布を求める GPL ライセンスの下で利用できます。この配布の一部である、Red Hat から出荷される大量のコードは、実際は Red Hat 以外の開発者によって作成されています。オラクルは、Red Hat が GPL の下で使用可能にしているソース・コードを取得しています。Red Hat Compatible Kernel を提供するため、オラクルは Red Hat による配布を緊密に追跡し、ユーザーへの互換性を保証します。

Oracle Linux サポートを使用し始めたら、サード・パーティのアプリケーションに対する動作保証はどうなりますか。

RHEL3、RHEL4、RHEL5、RHEL6 とともに使用が認定されている ISV アプリケーションは、すべて引き続き使用できます。オラクルは、これらのバージョンの Red Hat Enterprise Linux とともに認定されているアプリケーションの下で稼働するオペレーティング・システムのサポートを提供します。

2002 年以降、オラクルは顧客に対して、Linux OS 向けの P1 課題を修正しながら、RHEL 向けのパッチおよび修正を提供してきました。オラクルは、RHEL との互換性を維持してきたため、サード・パーティ製アプリケーションとともにこのプロセスを効率的に管理できます。

オラクルは、Red Hat Enterprise Linux とともに使用が認定されている、あらゆる ISV アプリケーションの下で稼働するオペレーティング・システムをサポートします。ISV は、アプリケーションと Oracle Linux とのテストおよび認定のために何も特別なことを必要としません。将来的に ISV は、RHEL に対して実行しているものと同じテストを実行することによって、Oracle Linux のテストおよび認定を行う可能性があります。詳しくは、[Certifying your applications with Oracle](#)

[Linux](#) を参照してください。

Red Hat がオラクルのパッチをリリースに取得しない場合はどうなりますか。

オラクルでは、Linux のパッチ適用および更新をすべて GPL や Red Hat などを使用できるようにしており、これらの修正を取得できます。オラクルでは、次回の RHEL の更新に含めることを考慮して、公開バグ追跡システム経由で Red Hat にパッチを直接提供しています。オラクルは、更新を含むすべての主要な RHEL ソフトウェア・リリースと同期しています。Red Hat が（オラクルのパッチを組み込むかどうかに関係なく）問題を修正した場合、オラクルは Red Hat による修正を受け入れ、それを組み込みます。Red Hat が、更新リリースにオラクルの修正を組み込まず、別の方法でも欠陥が解決されない場合、オラクルは、現行の RHEL ソフトウェア・リリースと主要な同期が行われるたびに追加の修正を組み込みます。

Oracle Linux はどのようなハードウェア・アーキテクチャ上でサポートされるのですか。

Oracle Linux は、[Oracle Linux Supported Releases](#) のリストに従って、x86 (32 ビット)、x86-64 (64 ビット) および Itanium (ia64) 上でサポートされます。

Oracle Linux との動作が保証されたハードウェアの詳細はどこで知ることができますか。

Oracle Linux との動作が保証されたハードウェアの詳細は、[このドキュメント](#)を参照してください。

Oracle Linux のサポートは、Sun Fire および Sun Blade システムにも含まれますか。

はい。オラクルの Sun x86 システムを Premier Support for Systems 付きで購入されますと、Oracle Linux Premier Support が含まれます（Oracle VM および Oracle Solaris のサポートも同様です）。Oracle Premier Support for Systems および Oracle Premier Support for Operating Systems を参照してください。

オラクルを支持するサード・パーティ・プロバイダを見つけるにはどうすれば良いですか。

オラクルには、Linux 上で稼働するベンダーを含む、業界の主要ベンダーとの戦略的なパートナーシップがあります。Oracle Linux サポート・プログラムを支援するサード・パーティ・ソリューションについては、[Partner Endorsements](#) ページを参照してください。

サポートの詳細

どのようにして Oracle Linux の更新を入手できますか。

オラクルは、Oracle Linux 向けのセキュリティの更新およびバグ修正（エラッタ）を、<http://public-yum.oracle.com/>上の公開 Yum リポジトリから無償で提供しています。エラッタを無料で利用できることにより、開発システムおよび本番システムの両方において Oracle Linux は理想的な選択肢となっています。どのシステムにどのサポート・レベルでサポート加入すれば良いか、お客様が自由に選択できます。

[Unbreakable Linux Network](#) (ULN) は、Oracle Linux サポート・サブスクリバの包括的なリソースで、追加の Linux ソフトウェア (ASMLib、DTrace など) へのアクセスおよびパッチ、更新、修正を提供します。ULN は、Red Hat Network (RHN) に類似しています。詳細は、[ホワイトペーパー『Unbreakable Linux Network』](#)を参照してください。ULN にアクセスするには、有効なカスタマ・サポート識別子 (CSI) が必要です。CSI を取得するには、オラクルの販売担当者より Linux サポートを購入してください。

ULN からパッチをダウンロードしたら、ユーザーはどのようにして Linux サーバーを管理できますか。

Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12c の基本インストールには、Oracle Linux サポート契約を購入することで、いくつかの機能が無償で含まれます。これらの機能には、以下のようなサーバー、ストレージおよび仮想管理機能が含まれます。

- 構成管理
- 高度なアラート管理
- ホスト監視および管理
- Linux OS パッチ適用

さらに、以下のようないくつかの Ops Center 機能が無償で含まれます。

- ベアメタル OS プロビジョニング
- コンプライアンスの自動化
- 履歴監視

詳細は、[Oracle Enterprise Manager Licensing Information 12c Release 1](#) を参照してください。Oracle Enterprise Manager 12c をダウンロードするには、[Oracle Enterprise Manager Downloads ページ](#)を参照してください。

クラスタリング・ソフトウェアは Oracle Linux サポートに含まれますか。

Basic および Premier サポート・レベルの Oracle Linux のサポート顧客は、Oracle Clusterware を追加ライセンス料およびサポート費用なしでダウンロードして配置できます。Oracle Clusterware は、個々のサーバーをグループ化することによって単一のシステムとして機能するようにできるポータブル・クラスタ・ソフトウェアです。Oracle Real Application Clusters の基本コンポーネントである Oracle Clusterware は、独立して機能し、アプリケーション、Oracle またはサード・パーティを確実に保護します。

Oracle Clusterware は、Oracle 単一インスタンス・データベース、Oracle Application Server、Oracle Enterprise Manager コンポーネント、サード・パーティ・データベースや他のアプリケーションなどのクラスタ環境で管理されるアプリケーションおよびデータベースにとって、ビジネス継続性に必須の要素である高可用性を実現します。詳細は、[Oracle Clusterware for Oracle Linux FAQ](#) を参照してください。

オラクルは、Red Hat Global File System (GFS)、Red Hat Cluster Suite (RHCS)、または Red Hat Application Server (RHAS) をサポートしていますか。

Red Hat Global File System (GFS) および Red Hat Cluster Suite (RHCS) は、RHEL5 および Oracle Linux 5 の一部であるため、オラクルによって Linux サポート・プログラムでサポートされます。ただし、GFS および RHCS は、RHEL4 および Oracle Linux 4 以前のバージョンに含まれないため、これらは RHEL4 および Oracle Linux 4 以前のバージョンではサポートされません。同様に、Oracle Linux 6 には、クラスタ化のための High Availability アドオンや GFS2 の Resilient Storage アドオンなど、Red Hat Enterprise Linux 6 で追加コストがかかるアドオンとして提供される機能のサポートは含まれません。

Oracle Linux ソフトウェアには、すでに [Oracle Cluster File System \(OCFS2\)](#) が含まれています。オラクルが開発した OCFS2 は、Linux カーネル (2.6.16 以降) に統合された共有ストレージ・ファイル・システムで、GNU General Public License の下でリリースされます。

Oracle Support Xen および KVM は、Red Hat Enterprise Linux の一部ですか。

Red Hat Enterprise Linux 5 は、カーネルベース仮想マシン (KVM) を統合し、Xen をデフォルト・ハイパーバイザとして出荷するため、これらは Oracle Linux サポート・プログラムでオラクルによってサポートされます。ただしオラクルは、RHEL の KVM/Xen 上の Oracle 製品をサポートしていません。オラクルは、Oracle アプリケーションおよび非 Oracle アプリケーションの両方を完全にサポートする無料のサーバー仮想化ソフトウェアである Oracle VM Server for x86 を提供し、世界レベルのサポートでバックアップされる、より効率的なパフォーマンスを低コストで提供しています。詳細については、[Oracle VM Server for x86](#) を参照してください。

トランジション

既存の RHEL インストールを RHN から Unbreakable Linux Network (ULN) へ移行するには、何が必要ですか。

オペレーティング・システムを再インストールする必要はありません。お手元の RHEL システムを [Unbreakable Linux Network](#) に接続するには、[ここで説明する](#) 手順に従ってください。要約すると、有効なカスタマ・サポート識別子 (CSI) を使用して ULN でアカウントに登録してから、インストール登録ソフトウェアをダウンロードしてインストールし、それを使用してサーバーを登録します。これらの手順が完了したら、Yum または up2date を使用して、ULN からの更新をダウンロードしてインストールします。

現在使用している Red Hat Enterprise Linux インストールを Oracle Linux サポートへ切り替える際は、Red Hat ロゴや他の Red Hat ファイルをシステムから削除する必要がありますか。

[Red Hat ライセンス契約](#)によると、Red Hat Enterprise Linux ソフトウェアを再配布しない限り、Oracle Linux サポートへ切り替える際に、Red Hat Enterprise Linux 配布のいずれのパッケージも変更または削除する必要はありません。Oracle Linux の更新を受信するためには、システムを Unbreakable Linux Network でこのドキュメントの手順に従って登録する必要があります。

追加情報

詳細情報を入手し、オラクルから Linux サポートを購入する方法を教えてください。

詳細情報を入手するには [oracle.com/linux](#) を参照し、Linux サポートを購入するには Oracle Linux 販売パートナー企業、オラクルの販売担当者よりご提供します。